



公益財団法人武蔵野市福祉公社

武蔵野市福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和55年に設立した在宅サービス提供機関です。誌名「羅針盤」は、ご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を示したものです。

誌面より

- 令和2年度決算・事業報告 ……1ページ
- 車椅子の座り心地 介護職員初任者研修でのひとこま ……2ページ
- 地域向けの出前講座を開講しました ……2ページ
- 特集 たなばたを振り返って ……3ページ
- おしらせ ……3ページ
- リレーコラム・編集後記 ……4ページ

令和2年度決算・事業報告

6月11日に理事会、30日に評議員会が開催され、令和2年度決算・事業報告について承認されました。令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策が最優先となり、各種イベントや講座、研修などは休止や縮小を余儀なくされました。他方、ご利用者の日常生活に必須の介護事業や相談支援事業は、感染対策を徹底して継続しました。感染リスクがある中での人援業務に従事した職員には、感謝手当を支給しました。生活困窮者自立支援事業の相談件数が増加したため、担当職員を増員し、三鷹サテライトオフィスを新たに開設しました。令和2年度事業計画で掲げた三つの重点項目に関しては、次のとおり実施しました。

① 成年後見利用促進に係る中核機関の運営

武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク協議会を2回開催しました。また、成年後見制度の周知を目的とした講演会を実施しました。

② 福祉・介護人材の確保に向けた取り組み

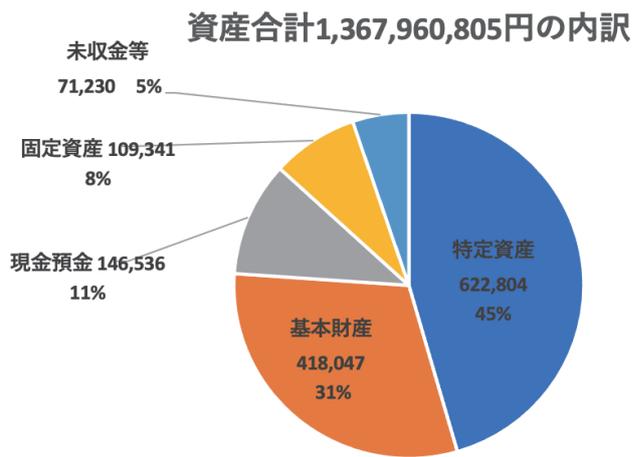
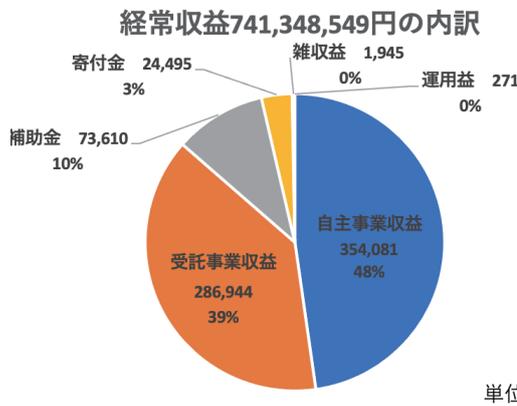
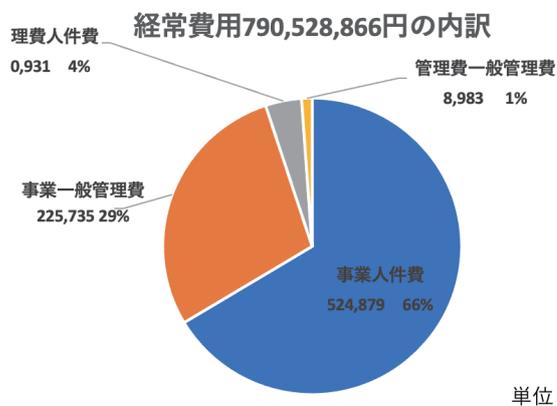
介護職を3名採用しましたが、3名が退職しました。社会福祉士等の相談業務職員は4名採用しましたが、生活困窮者自立支援事業の急拡大に対応するため、令和3年4月に2名採用することとなりました。

③ 本部事務所の建替えの検討

新社屋建設準備委員会を設置し、令和2年12月には委員会からの報告書が提出されました。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大が大きく影響し、各事業の財政状況については多くの事業でマイナスとなりました。

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境整備に寄与すべく、今年度も事業に精励いたします。
(総務課 田中)



車いすの座り心地

介護職員初任者研修でのひとこま



▲(写真1) 車椅子介助の演習風景。

「こんなに辛くなるなんて知らなかった！」
地域包括ケア人材育成センターでは介護職員初任者研修(※)を開講中です。その演習中に「車いすに長時間座ってみる」という場面がありました。座学の間受講生がじっと車いすに座り経過観察…車いすの座面は畳みやすくするために布が弛んでおり、座ってみると想像以上に不安定に感じるのです。その苦痛を体験し、「どのようにしたら苦痛を軽減できるか」と考えながらの演習を行いました(写真1)。ご利用者の感覚を知ることができ、受講生にとっては大変貴重な機会となりました。

また、演習最終日には受講生のリクエストがあり、



▲(写真2) 思いがけない外での演習に真剣な受講生の姿。

路上で車いす介助に挑戦(写真2)。坂道や少しの段差に苦戦しつつ、介助する際の留意点、手技について実践的に学びました。

見ているだけでは気付かない「車いすの座り心地」。常にご利用者の視線を意識してケアにあたる介護職を育成していきたいです。

(人材育成センター 糸谷)

※介護職員初任者研修

介護職の基本となる知識・技術を修得する研修。この研修を修了すると様々な介護事業所で資格者としての就業が可能となる。人材育成センターでは年1回開催、今年度は5月～8月末まで開講中。

地域向けの出前講座
を開催しました



▲講師を務めた上田看護師

在宅介護・地域包括支援センターでは、6月17日、近隣の武蔵野緑町パークタウンの管理会社より依頼を受け、「コロナの疑問に答えます！」をテーマに、当センターの看護師が住民の方向けの出前講座を行いました。新型コロナウイルス感染症やワクチン接種等の基本的な情報を伝えながら、参加した住民の方の「ワクチン接種予約が大変、予約はできるの?」、「かかりつけ医で接種ができるの?」といった不安の声に



▲講義の様子。一日に2回開催しました。

対して、可能な限りお答えしました。

これからも、市民の方々が安心して生活続けることができるように、当センターでは新型コロナウイルス感染症に関する情報や、暮らしの情報を地域に発信していきます。このほか、介護保険サービス、認知症関連知識、エンディング支援、介護予防等、様々な出張講座も実施していますので、お気軽にお問い合わせください。

(在宅介護・地域包括支援センター 柳野)

たなばたを振り返って



七夕の願いごと

毎週火曜日に書道のプログラムを実施しています。4月からの指導は林徳子講師です。ご利用者は、季語、かな文字、和歌などの中からお手本を選び、丹念に硯で墨をすり、1時間ほどかけてじっくりと熱心に、取り組んでいます。

玄関前には地元のご厚意でいただいた笹竹に、願い事をしたための沢山の短冊を飾りました。特に、書道プログラムでは、ご利用者が、6月後半から七夕のかな用短冊に取り組みました。「何を書くか迷うわ」、「いつもの半紙じゃないから緊張する」などと会話されていましたが、見事な筆跡の作品が出来上がりました。

七夕当日はみずきっこの子どもたちとオンラインで双方の短冊に込めた願い事を聞き、七夕の由来を紐解き、七夕の曲を聴くなど交流をしました。

(北町高齢者センターコミュニティケアサロン鈴木美)



願い事が 叶いますように…

ご利用者の短冊には『東京オリンピック』『双子パンダ元気に』『健康で』『お友達がほしい』など、幸せや健康を祈る願いが多く見られ、心が温かくなります。

そして七夕の由来を説明する劇では、織姫と彦星役に立候補されたご利用者が見事に演じて下さいました。仕事を怠けていた彦星に対して「けしからん！2人は離れ離れに暮らさない」と天帝役のご利用者がアドリブで論したり、「彦星様や織姫様に会いたいなあ」という感想が聞かれたり、劇が終わると会場からは「ブラボー」の声と拍手喝采で大盛況でした。(デイサービスセンター 本橋)



▲ 書道プログラムの様子。



▲ 玄関の華やかな笹竹。



▲ 室内にも色とりどりの短冊。

今年こそ叶いますように

毎年7月上旬は高齢者総合センター1階ロビーが華やかになります。社会活動センター「季節の折り紙講座」松尾講師手作りの七夕飾りです。笹の葉の一枚一枚まで折紙でとても手の込んだ作品です。笹飾りにもいろいろ意味があるそうで、網飾りは大漁を、巾着は金運や貯蓄、スイカやナスは豊作を願うのだそうです。短冊の五色に

も意味があります。「緑…自分自身の成長」「赤…親、先祖への感謝」「黄…人間関係」「白…自分の決め事」「紫…学業の向上」。職員それぞれ思う事を短冊にしたため、飾りました。「整理整頓」「健康第一」「コロナが早く収まって！」など、いろいろな願い事がありました。どうか、叶いますように…。

(管理・社会活動センター 白須)



▲ 可愛い飾りとともに貼られた短冊。

老いじたく講座

● 老いじたくの基礎知識

8月26日(木)
13時30分～15時00分
@福祉公社1階会議室

● 成年後見制度について

9月10日(金)
13時30分～15時00分
@福祉公社1階会議室

法律相談(成年後見関連)

毎月第2火曜日
(次回は9月14日 午後/予約制です)

法律相談(高齢者にかかる一般法律相談)

毎月第4水曜日
(次回は8月25日 午後/予約制です)

【問合せ・申込み】 権利擁護センター ☎ 0422-23-1165



家族介護教室 みどりの輪 「みんなで話そう 介護の体験」

日時 令和3年9月24日(金) 13時30分～15時00分(13時00分受付開始)
場所 高齢者総合センター 3階講義室
講師 在宅介護・地域包括支援センター 職員
定員 15名

【お問い合わせ・申し込み】 高齢者総合センター 在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974

職員リレーコラム

花の香りに想いをよせて

権利擁護センター 垂見有子

私は仕事柄、自転車で外出することが多いのですが、住宅街の庭先から花の甘い香りが漂うと、ふと足を止めることがあります。初夏のくちなし、盛夏のジャズミン、初秋のキンモクセイ…思い返せば、故郷の実家の庭には四季折々の花が咲いていました。山育ちの父が庭に植樹した桜の苗木はやがて大樹となり、春に満開の花を咲かせます。庭の水やりは、子どもだった私の日課。花の色彩や香りに街角で出会うと、故郷を懐かしく思い出すのはそのためでしょうか。

成年後見制度を利用されているご高齢の方に、ちぎり絵を趣味にされている一人暮らしの男性がいます。故郷の自然や盆踊りなど季節の風物詩を題材に、多彩な和紙をちぎっては幾重にも貼り合わせ、じっくりと作品に仕上げます。その姿を目にすると、認知症によって最近の記憶は失われつつあっても、故郷の大切な思い出は鮮明に生き続けていると感じます。私もそうした想いを一緒に慈しんでいけたらと思っています。

今回は  権利擁護センター 桑高知代

福祉公社 各部署のご案内



武蔵野市福祉公社 本部

武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

総務課 ☎ 0422-23-1165
権利擁護センター ☎ 0422-23-1165
成年後見利用支援センター ☎ 0422-27-1238
生活自立支援センター(三鷹サテライト) ☎ 0422-66-2801
ケアプランセンター ☎ 0422-23-1165
ホームヘルプセンター武蔵野 ☎ 0422-23-2611
地域包括ケア人材育成センター ☎ 0422-20-3741

武蔵野市立北町高齢者センター 武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

コミュニティケアサロン ☎ 0422-54-5300
子育てひろば・みずきっこ ☎ 0422-38-5150

武蔵野市立高齢者総合センター 武蔵野市緑町2-4-1

管理・社会活動センター ☎ 0422-51-1975
在宅介護・地域包括支援センター ☎ 0422-51-1974
住宅改修・福祉用具相談支援センター ☎ 0422-51-1974
デイサービスセンター ☎ 0422-51-2933

広報委員会 編集後記

私が小学生の頃の夏休みは夕飯が終わると、母と弟たちと近所の酒屋に毎日アイスを買に行きました。昼間より落ち着いた夕方の方の気温と、湿気った空気をよく覚えています。外出制限の続く状況ですが、皆様今年の夏のよき思い出がありますように。
(住宅改修・福祉用具相談支援センター 原)

<ホームページ>

◇ 武蔵野市福祉公社 <https://www.fukushikosha.jp>

◇ 武蔵野市地域包括ケア人材育成センター <https://www.m-machigurumi.jp>

◇ ホームヘルプセンター武蔵野 <https://help-musashino.jp>

営業時間 8時30分から17時15分(すべて共通)